

MaxBox-PJ **【RPCA】** 認証タイプ

福岡 熊本 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄



特長

1

高強度鉄筋を用いた圧着式接合法(PJ工法)

高強度鉄筋と普通鉄筋の降伏耐力差分を利用して接合面に圧着力を与える接合法を採用することにより、接合界面の離間抑制および耐久性の向上を図ることができます。

2

施工性と経済性

部材の形状を単純化することで、施工性の向上が図れます。また、特殊な継手を用いず、接合用鉄筋と構造用鉄筋を兼用することでコスト低減が図れます。

3

一般的なRC構造として設計

高強度鉄筋と普通鉄筋の差分を利用した接合法であるため、普通鉄筋を使用した一般的なRC構造物として設計が可能です。



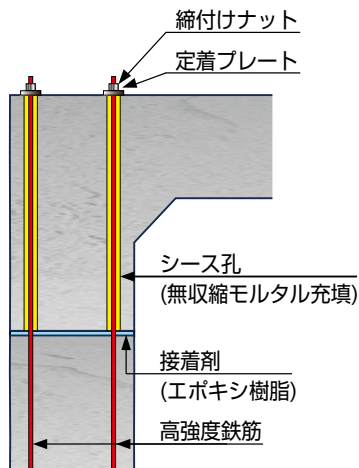
MaxBox-PJは

RPCA製品審査基準 適合証明書

を取得しています

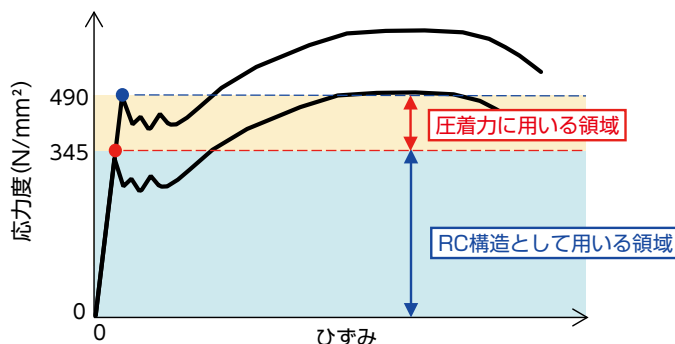
(一社)道路プレキャストコンクリート製品技術協会
証明書番号 III24-CR146号

圧着式接合法(PJ工法)概要図

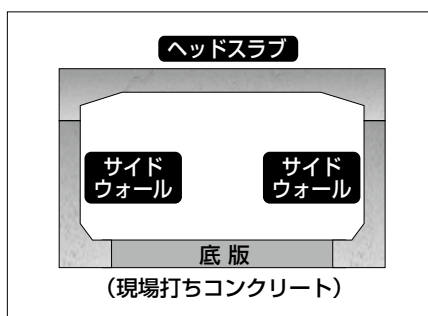


高強度異形鉄筋利用のコンセプト

高強度鉄筋(SD490)を使用し、普通鉄筋(SD345)との降伏耐力差分を利用して接合面に圧着力(鉄筋緊張力)を与えますが、部材設計はSD345と同等の耐力を有したRC構造として取り扱うことができます。



3 分割タイプ



4 分割タイプ

